

金沢市長
山野 之義 様

金沢市教育委員会教育長
野口 弘 様

学校現場の多忙化改善に向けた具体的な業務の削減と 教職員の加配・定数改善を求める署名

学校現場の多忙化が問題になっています。金沢市教育委員会は、「金沢市立学校における教職員が本務に専念するための時間の確保に向けた取組方針」を発表しました。時間外勤務時間の平均を前年度より減少させる等の数値目標を掲げ、学校現場では改善に向けた取組が着実に進められています。しかし、数値目標の達成だけを目指しても、仕事の量が減らない限り実質的な多忙化改善にはなりません。授業の準備や採点業務などの仕事を持ち帰らざるを得なくなるからです。長時間労働は教職員の心身の健康を損い、子どもたちと真摯に向き合うことを困難にします。日々さまざまな悩みを抱える子ども達の思いを受け止めるためにも具体的な業務の削減が不可欠です。また、一人あたりの仕事量を減らすためには教職員の数を増やす必要もあります。

【要請事項】

学校現場の多忙化改善に向けた具体的な業務の削減と
教職員の加配・定数改善に取り組むことを求めます。

名前	住所

呼びかけ団体

わたしたちの声を聞いてください。

仕事に追われ、学校の子どもと接する時間はもちろん、休日、家族との時間がとれないまま日々が過ぎていきます。もっと心に余裕をもって生き生きと働ける環境になればと思います。

(40代男性)

4～6月の段階で時間外労働が平均120時間を超えていて、日に日に疲労がたまっている現状です。労働条件の改善をぜひお願いします。(20代男性)

「これが教員の仕事？」というものまでやるが多すぎて、体調が日に日に悪くなるのを自覚しています。しかし休むわけにいきません。他の人たちも目一杯なのでこれ以上負担をかけられません。倒れるまで頑張るしかないのでしょうか。(30代男性)

毎月残業時間が100時間を超えます。生徒のためと思って働いていますが、何年続けられるのかなと思う日もあります。ぜひ早急にとりくみをお願いします。(30代女性)

朝は早く、夜は遅く、休日は土日のどちらか、もしくは2日とも仕事という日々を過ごしています。プライベートはほぼなし！疲れがたまり、教室で元気に過ごす気力がない日も…。子どもたちのために授業の準備に時間をかけたいのですが事務作業に追われ、毎日いっぱい입니다。(20代女性)

4～5月、クラスが波にのるまで、「子どもたちのために」とたくさんの仕事をしました。放課後の時間だけでは到底たりません。家庭もあるので、仕事を家に持ち帰る日々が続いていました。勤務時間内ではとても終わる仕事ではないので、長時間勤務するしかありません。今の状況、なんとかしてほしいです。(30代 3児の母)

仕事量が多すぎて、エンストしそうです。深夜、テストの採点や教材研究など持ち帰りの仕事をしています。(50代男性)

学校の廊下でよく「疲れた顔してるね」と同僚の先生方に声をかけられます。そんな表情で子ども達の前に立つのも悲しいですし、実際帰宅すると脱力してしまい何もできなくなるのも日々辛いです。ぜひ現場の大変さを理解していただき、改善してほしいです。(40代女性)

書類の作成・提出に追われ、帰宅し夕食をつくるのは9時という日が4～5月は続きました。学期末にまた同様のことが起こります。体調を崩すのが当たり前のこの状況をなんとかして頂きたいです。(50代女性)